

健康科学部、国際福祉開発学部に 新学部長が就任。

2017年4月より、健康科学部の学部長に久世淳子、
国際福祉開発学部の学部長に吉村輝彦が新たに就任しました。
新学部長によるメッセージと両学部のトピックスをお伝えします。

健康科学部

Message

理学療法士から建築士まで
幅広い資格に対応しています。

2018年は健康科学部にとって10周年の節目の年。健康科学部のある半田キャンパスは大学40周年事業の一環として造られたもので、その特徴ある景観は一度見たら忘れることができないでしょう。半田キャンパスにあるのは健康科学部ですが、リハビリテーション学科と福祉工学科があり、理学療法士・作業療法士・介護福祉士・社会福祉士、さらには1級・2級建築士の国家試験受験資格や基本情報技術者などの国家試験にも対応しています。多職種連携の基礎である他の職種についても学ぶことができるキャンパスです。

キャンパス自慢でごあいさつが後になってしまいました。健康科学部の学部長を2017年4月から務めている久世と申します。大学後援会の皆様におかれましては、今後とも健康科学部への多大なご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



健康科学部 新学部長
久世 淳子

Junko Kuze 研究分野は、実験心理学および発達心理学。2017/03「老いのこころと寄り添うこころ 改訂版(分担執筆)」などの著書や、2016/03「講義による高齢者イメージの変化—発達過程における他世代とのかわり経験との関連—(共著)」、2008/03「Subjective evaluation of visual fatigue caused by motion images(共著)」などの論文を発表。

健康科学部のココに注目!

Topics 1 2018年4月より、福祉工学科の2専修名称変更

時代のニーズに応え、「情報工学専修」、「建築バリアフリー専修」に名称を変更し、カリキュラムを一新。健康や福祉のための機器や情報システムの開発、バリアフリー建築や自然と共生する環境づくりなど、健康で質の高い暮らしを実現するための知識と技術を身につけます。

健康情報専修	バリアフリーデザイン専修
NEW	NEW
情報工学専修	建築バリアフリー専修
情報システムやアプリケーションを開発する技術者、情報技術を健康・福祉・生活に活かす人材を育成。	カリキュラムを一新し、さらに充実した建築教育を実施。福祉や環境共生を理解した建築士を育成。

Topics 2 国家試験の現役合格率が高い!

2016年度卒業生が理学療法士、作業療法士国家試験の現役合格率100%を達成しました。社会福祉士国家試験の現役合格率も84%(全国平均25.8%)でした。

理学療法士 国家試験合格率	現役合格率 100% (全国平均90.3%)
作業療法士 国家試験合格率	現役合格率 100% (全国平均83.7%)
社会福祉士 国家試験合格率	現役合格率 84% (全国平均25.8%)

国際福祉開発学部

Message

多くの人々との出会いや語らいが
可能性を開花させます。

「他県で災害があれば、県境を越えて支援したい。"助けてあげる"のではなく、被災者が自ら立ち上がるための力になりたい」——そう考える人は多いでしょう。同じことが地域社会や国際社会でも言えます。さまざまな課題に直面しながらも生きる人々へのボーダーを越えた支援。それは、一方的に何かを与えるのではなく、地域の文化的背景を理解し、多様な価値観を踏まえ、問題とその解決策を共有し、協働しながら、人々が自立できるよう支えていくことにほかなりません。国際福祉開発学部では、国内外での地域フィールドにおける実践的体験による学びを通じて、日本であれ、海外であれ、それぞれの現場(地域、企業、教育他)において、英語やICTスキルも含めた“多文化コミュニケーション力”と多様な意見を取りまとめる前に進める“ファシリテーション力”によって、さまざまな問題解決に取り組むことのできる、多文化共生社会を生き抜く人を育てます。



国際福祉開発学部 新学部長
吉村 輝彦

Teruhiko Yoshimura 研究分野は、都市計画・建築計画。2017/03「地域共生の開発福祉—制度アプローチを越えて—(共著)」、2013/03「福祉社会の開発—場の形成と支援ワーク—(共著)」、2009/03「住民主体の都市計画(共著)」などの著書や、2016/09「公共施設マネジメントの推進における住民参加(単著)」、2015/09「対話や交流の場づくりから始まるまちづくりの展開—長久手市における取組み事例から—」などの論文を発表。

国際福祉開発学部のココに注目!

Topics 空港がキャンパス!「セントレアサテライト」でキャリア教育

日本福祉大学は2015年12月7日、中部国際空港株式会社(本社:愛知県常滑市)と産学連携に関する協定を締結し、その協定の一環として中部国際空港(愛称:セントレア)内に日本福祉大学セントレアサテライト(注1)を開設しました。2017年度からは国際福祉開発学部1年生向けの正課科目「グローバルキャリアデザインI」を開講し、すべての講義を空港内で完結させる初めての取り組みが始まりました。2017年8月29日から9月1日にかけて集中講義として行った授業には、同学部の学生ら32人が受講。エアライン・観光ビジネスやグローバルビジネスの実態を、空港や臨空エリアなどで活動する企業・団体の方々を講師に迎えて学びました。



(注1)日本福祉大学は、正課科目ならびに課外活動の場として、貸会議室をセントレアサテライトという呼称で使用しています。本名称は、空港内の入居企業案内板に空銘板として掲載されています。